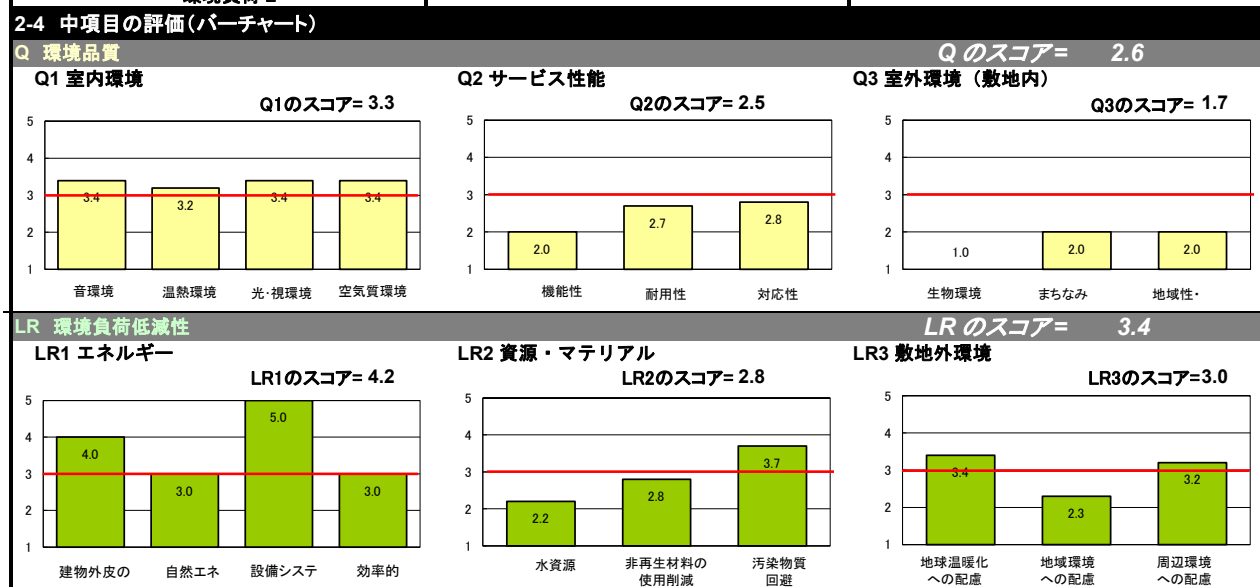
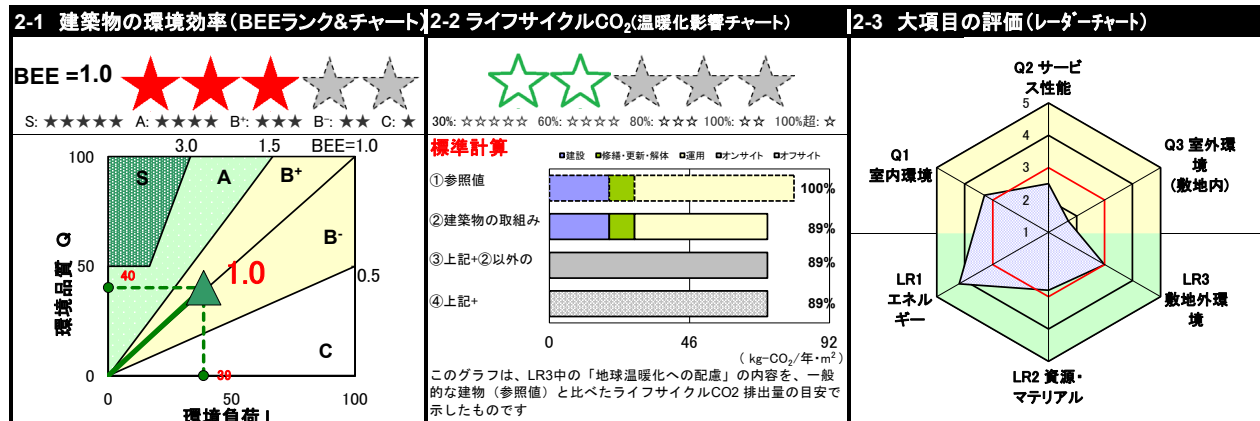


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称		階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年6月5日
敷地面積	926 m ²	作成者	環境システム設計馬場
建築面積	586 m ²	確認日	2025年6月6日
延床面積	5,647 m ²	確認者	環境システム設計神川



3 設計上の配慮事項	
総合 周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた居住環境となっている。 また、建物全体の一次エネルギー消費量を抑えた地球温暖化や環境にも配慮した建物である。	その他 0
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用することにより、室内環境に配慮している。 開口部は遮音性能T-2を使用し、より快適な室内環境を確保している。	Q2 サービス性能 階高・天井高を十分にとり、快適に過ごせる設計とした。
LR1 エネルギー 一次エネルギーは住棟で、高い水準であるZEHLレベルを確保しており、エネルギー削減への配慮がなされている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない、ノンフロン断熱材を使用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。
	LR3 敷地外環境 敷地内から漏れる光が敷地外に悪影響を及ぼさないよう取り組みされている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される